



## 在宅生活を支えるスペシャリスト

～ホームヘルパーの仕事(訪問介護員)～

「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために」

年を重ねて高齢になることで介護が必要になったり、予期せぬことで障がい者になったとしても、長年住み慣れた地域の中で最後まで自分らしい生活を続けていきたいと願う人は多いのではないのでしょうか？

高齢者や障がい者が安心して地域で生活を送るための、さまざまな福祉サービスがあります。今回は、訪問介護(居宅介護)サービスを支えるホームヘルパー(訪問介護員)のお仕事についてご紹介します。

### ＊主な仕事内容は

#### 介護サービス(身体介護)

食事や入浴、排泄、更衣の介助など、日常生活に必要な動作を利用者さんの身体に触れてサポートするサービス

#### 家事援助サービス(生活援助)

掃除や洗濯、調理、生活必需品の買い物代行、ベッドメイキング、衣類の整理や補修、薬の受け取りなど、利用者の日常生活を助けるサービス



#### 利用者の見守り

利用者の生活について心配なことや気が付いたことがあれば、関係機関につなぎます。

日頃から利用者とのコミュニケーションを取り、利用者との信頼関係を築いているからこそできるサービスであり、最もやりがいを感じる事ができる仕事でもあります。

### ＊ホームヘルパーとして仕事をするには

必ず介護の資格が必要です。介護の資格は、3カ月程度で取得できる比較的取りやすいものから、取得難易度の高い国家資格までさまざま。代表的なものは、主に次の3つです。

介護職員初任者研修

実務者研修

介護福祉士(国家資格)

これらの資格は、ホームヘルパーの仕事以外にも、介護施設、病院や診療所などでは介護助手として、また、介護の仕事をしなくても、生活の中で生かすことができます。自分の家族の介護や、地域の高齢者へのボランティアなど、この資格を生かした活躍の場が広がります。

### ＊在宅介護を支える大切な存在

ホームヘルパーは「家事代行」ではなく、「介護のプロフェッショナル」

訪問介護の仕事の一部である「生活援助」は、家事代行に似た部分があります。そのため、家政婦やお手伝いさんと混同される場合がありますが、実は全く異なります。

ホームヘルパーが行うのはあくまでも自立支援です。ホームヘルパーが自宅で介護をすることにより、利用者本人が身体的にはもちろん、精神的にも社会的にも豊かな暮らしができるように、そして、自ら工夫して乗り切れるように、サポートします。利用者が持っている力を生かし、本人ができることは本人が行い、できないことはできるように支援をすることが、介護の基本である自立支援です。

また、ホームヘルパーの仕事は、利用者だけではなく、介護を行う利用者の家族への支援でもあります。終わりが見えない介護を毎日行うことで、身体的にも精神的にも追い込まれてしまう家族は多いです。そこでホームヘルパーの介入により、介護の大きな負担や悩みを減らすことができます。



### タイムスケジュール Aさんの場合(支援時間 60分)

#### 生活援助(買い物、調理) 60分

- ①サービス内容の確認
- ②献立の確認
- ③購入品の聞き取り
- ④買い物代行
- ⑤精算
- ⑥調理
- ⑦配膳
- ⑧片付け
- ⑨記録



※介護職員初任者研修のお知らせを4面に掲載しています。